



Powered by creativity



TDK. The electronic components company.

2012年3月期 上半期決算説明会

2011年10月31日
TDK株式会社

- ◆ 2012年3月期 上半期連結業績概要
2012年3月期 通期見通しについて
代表取締役社長 上釜 健宏
- ◆ 2012年3月期 第2四半期連結業績概要
執行役員/経理部長 桃塚 高和
- ◆ 受動部品事業について
常務執行役員 植村 博之
- ◆ 記録デバイス事業について
常務執行役員 小林 敦夫

2012年3月期 上半期連結業績概要
2012年3月期 通期見通しについて

TDK株式会社
代表取締役社長
上釜 健宏

2012年3月期上半期連結業績概要



(億円)	2011年3月期 第2四半期累計実績 (2010.4.1~2010.9.30)	2012年3月期 第2四半期累計実績 (2011.4.1~2011.9.30)	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	4,422	4,172	△251	△5.7
営業利益	372	138	△234	△62.9
営業利益率	8.4%	3.3%	△5.1pt	-
税引前利益	346	107	△240	△69.2
当期純利益	261	67	△194	△74.3
1株当たり利益(円)	202.46	52.09	△150.37	-
為替	対ドルレート	88円89銭	79円84銭	10.2%の円高 0.2%の円安
	対ユーロレート	113円80銭	114円00銭	
為替変動による 影響金額	売上高：約332億円の減収 営業利益：約109億円の減益			
震災による 影響金額	売上高：約57億円の減収 営業利益：約36億円の減益			

年金制度の変更に伴い、第1四半期の営業利益段階で約31億円の一時費用が発生しております。

◆ エレクトロニクス市場動向

- 東日本大震災による生産調整から主に日系自動車関連市場が回復基調
- スマートフォン、タブレット端末の生産は対前年同期比で増加
- 薄型TV、ノートPC、HDDの生産は前年同期とほぼ同水準で推移

◆ 当社の状況(上半期累計売上高の前年同期比較)

- “受動部品” 売上高：2,016億円（前年同期比 5.6%減）
 - ✓ アルミ電解コンデンサ・フィルムコンデンサーが産業機器市場向けを中心に増加
 - ✓ セラミックコンデンサ、インダクティブデバイスが情報家電市場向けで減少
 - ✓ 高周波部品が携帯電話向けで減少
- “磁気応用製品” 売上高：1,672億円（前年同期比 13.2%減）
 - ✓ 記録デバイスの販売が円高、売価下落の影響を受け販売が減少(前期比20.8%減)
- “その他” 売上高：484億円（前年同期比 33.4%増）
 - ✓ 二次電池の販売がタブレット端末向けを中心に大幅に増加

タイで発生した洪水による被害状況について



会社名	所在地	生産品目	状況
TDK Thailand Co., Ltd	ロジャナ	金属磁石 記録メディア センサ	工場内に浸水、操業停止中 タイ以外の第3国での代替生産等を予定
TDK Thailand Co., Ltd	ワンノイ	金属磁石応用製品	操業停止中/設備被害無し 従業員の安全確保が確認出来しだい 生産再開するとともにタイ以外の第3国での 代替生産等を予定
Magnecomp Precision Technology Public Co.,Ltd (本工場)	ワンノイ	HDD用サスペンション	操業停止中/設備被害無し 従業員の安全確保が確認出来しだい 生産再開の予定
Magnecomp Precision Technology Public Co.,Ltd (分工場)	ロジャナ	HDD用サスペンション	工場内に浸水、操業停止中 一部の設備はワンノイ工場へ移動済

2012年3月期通期業績見通し



(単位：億円, %)

期 科目	2012年3月期 予想 2011年10月 発表	2012年3月期 予想 2011年6月 2011年7月 発表	2011年3月期 実績	2011年3月期対比 増減	
	金額	金額	金額	金額	増減率(%)
売上高	8,200	8,900	8,757	△ 557	-6.4
営業利益	350	670	638	△ 288	-45.1
税引前当期純利益	300	650	601	△ 301	-50.1
当社株主に帰属する当期純利益	200	500	453	△ 253	-55.8
固定資産の取得	800	850	786	14	1.8
減価償却費	800	850	776	24	3.1
研究開発費	520	530	530	△ 10	-2

2012年3月期第3四半期以降の平均為替レート想定

対米ドル=76円（従来想定：80円）

対ユーロ=105円（従来想定：110円）

エレクトロニクス市場、主要セット製品の見込み、円高の影響及びタイで発生している洪水の影響等を考慮し従来見通しを修正致します

◆ 1株当たり配当金見通しの修正

中間配当金 40円

期末配当金 40円（見通し）

年間配当金 80円（見通し）

前回発表いたしました当期期末配当金50円/株の予定を
当期業績見通し及び当社配当政策等を勘案し、変更いたします。

モノづくり力強化と収益力改善の為の施策を実施

- ▶ 生産拠点の最適化推進
- ▶ グループ全体で約11,000名の人員削減を実施
- ▶ 不採算事業・製品への対応
 - ✓ 有機EL事業売却など
- ▶ 固定費削減
- ▶ 国内外の遊休資産の売却

2012年3月期 第2四半期連結業績概要

TDK株式会社
執行役員/経理部長
桃塚 高和

2011年3月期第2四半期 連結業績概要



(億円)	前第2四半期実績 (2010.7.1~2010.9.30)	当第2四半期実績 (2011.7.1~2011.9.30)	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	2,203	2,104	△99	△4.5
営業利益	170	81	△88	△52.0
営業利益率	7.7%	3.9%	△3.8pt	-
税引前利益	158	74	△85	△53.5
当期純利益	116	43	△73	△62.9
1株当たり利益(円)	89.87	33.30	△56.57	-
為替	対ドルレート	85円88銭	77円96銭	9.2%の円高
	対ユーロレート	110円67銭	110円42銭	0.2%の円高
為替変動による 影響金額	売上高：約147億円の減収 営業利益：約50億円の減益			
震災による 影響金額	売上高：約11億円の減収 営業利益：約6億円の減益			

売上高の前年同期比較



(億円)		前第2四半期実績 (2010.7.1~2010.9.30)		当第2四半期実績 (2011.7.1~2011.9.30)		対前年同期比	
		金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	377	17.1	342	16.2	△35	△9.5
	インダクティブデバイス	336	15.2	314	14.9	△22	△6.5
	その他受動部品	375	17.0	344	16.4	△31	△8.3
	受動部品計	1,087	49.3	999	47.5	△88	△8.1
	記録デバイス	653	29.7	533	25.4	△120	△18.4
	その他磁気応用製品	269	12.2	312	14.8	43	16.0
	磁気応用製品計	922	41.9	845	40.2	△77	△8.4
	その他	193	8.8	260	12.3	67	34.7
	合計	2,203	100.0	2,104	100.0	△99	△4.5

売上高・営業利益の前年同期比較



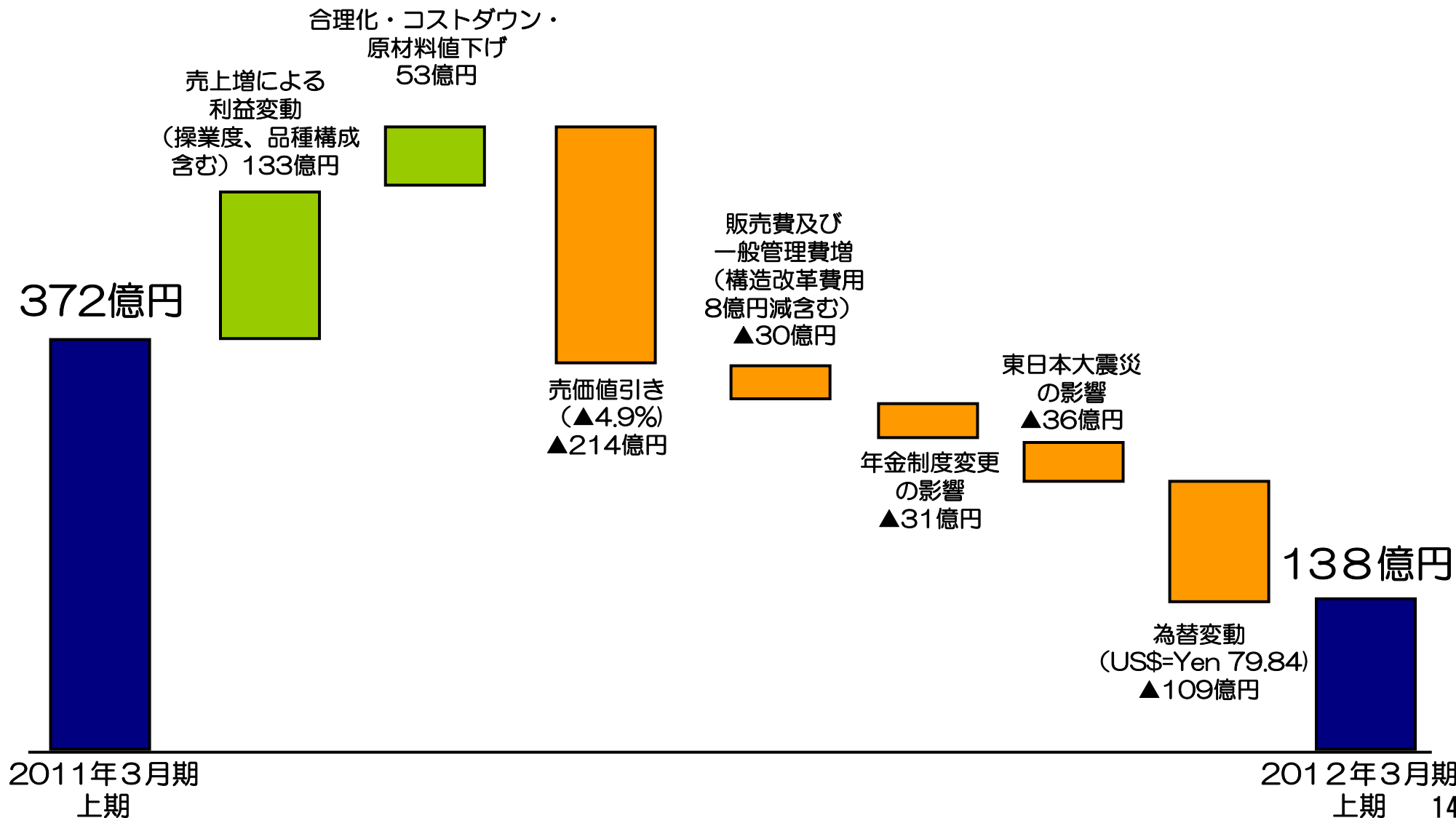
(億円)		前第2四半期実績 (2010.7.1~2010.9.30)		当第2四半期実績 (2011.7.1~2011.9.30)		対前四半期比	
		金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	増減	増減率(%)
売上高	受動部品計	1,087	49.3	999	47.5	△89	△8.1
	磁気応用製品計	922	41.9	845	40.2	△77	△8.4
	その他	193	8.8	260	12.3	67	34.5
	合計	2,203	100.0	2,104	100.0	△99	△4.5

(億円)		前第2四半期実績 (2010.7.1~2010.9.30)		当第2四半期実績 (2011.7.1~2011.9.30)		対前四半期比	
		金額	売上高比(%)	金額	売上高比(%)	増減	増減率(%)
営業利益	受動部品計	73	6.7	13	1.3	△60	△82.5
	磁気応用製品計	125	13.6	88	10.4	△37	△29.8
	その他	17	8.8	17	6.7	0	2.9
	全社及び消去	△45		△37		8	-
	合計	170	7.7	81	3.9	△88	△52.0

上期営業利益増減分析



営業利益の減少 234億円



売上高・営業利益の四半期比較 (当期1Q vs 当期2Q)

(億円)		当第1四半期実績 (2011.4.1~2011.6.30)		当第2四半期実績 (2011.7.1~2011.9.30)		対前四半期比	
		金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	増減	増減率(%)
売上高	受動部品計	1,017	49.2	999	47.5	△18	△1.8
	磁気応用製品計	827	40.0	845	40.2	18	2.2
	その他	224	10.8	260	12.3	36	16.1
	合計	2,068	100.0	2,104	100.0	36	1.7

(億円)		当第1四半期実績 (2011.4.1~2011.6.30)		当第2四半期実績 (2011.7.1~2011.9.30)		対前四半期比	
		金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	増減	増減率(%)
営業利益	受動部品計	38	3.7	13	1.3	△25	△65.8
	磁気応用製品計	76	9.1	88	10.4	12	15.8
	その他	15	6.7	17	6.7	2	13.3
	全社及び消去	△72		△37		35	-
	合計	56	2.7	81	3.9	25	44.6

(億円)	2011年3月末	2011年6月末	2011年9月末	対6月末増減
総資産	10,609	10,657	10,498	△ 159
負債合計	5,211	5,333	5,375	42
うち有利子負債	2,450	2,508	2,680	172
株主資本	5,343	5,270	4,992	△ 278
(うち包括利益)	△ 2,180	△ 2,227	△ 2,582	△ 355
株主資本比率	50.4%	49.4%	47.6%	△1.8%

2012年3月期通期業績見通し（7月発表業績見込み対比）



（単位：億円, %）

期 科目	2012年3月期 予想 2011年10月 発表	2012年3月期 予想 2011年6月 2011年7月 発表	7月発表業績見込み対比 増減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
売上高	8,200	8,900	△ 700	-7.9
営業利益	350	670	△ 320	-47.8
税引前当期純利益	300	650	△ 350	-53.8
当社株主に帰属する当期純利益	200	500	△ 300	-60.0

- 薄型TV、PC及びPC関連機器市場の生産調整
- スマートフォン・携帯電話主要顧客の生産調整
- タイ洪水による影響
- 為替前提の変更
- 下期実施の収益力改善による増益効果

2012年3月期第3四半期以降の平均為替レート想定

対米ドル=76円（従来想定：80円）

対ユーロ=105円（従来想定：110円）

受動部品事業について

常務執行役員
植村 博之

受動部品・主要製品の四半期比較（当期1Q vs 当期2Q）



製品区分 当第1四半期売上金額 当第2四半期売上金額 増減 %	増減要因
コンデンサ 361億円 342億円 5.3%減少	<ul style="list-style-type: none"> ●セラミックコンデンサ 自動車分野向け販売が増加 薄型TVを中心とした情報家電市場及び代理店向け販売が減少 ●アルミ電解コンデンサ/フィルムコンデンサ 主に為替影響により販売が減少
インダクティブデバイス 329億円 314億円 4.6%減少	自動車市場向けに販売が増加 スマートフォン・携帯電話などの通信市場向けは安定的に推移 トランス、フェライトコアなどの電源回路向け部品の販売が減少
その他受動部品 328億円 344億円 4.9%増加	<ul style="list-style-type: none"> ●高周波部品 スマートフォンを中心とした携帯電話向けの販売が増加 ●圧電材料部品及び回路保護部品 自動車市場を中心に安定的に推移

記録デバイス事業について

常務執行役員
小林 敦夫

●HDD用ヘッド出荷指数

	FY March'11				FY March'12			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
Index	100	100	102	95	95	99	73	106

実績
見込

2011年3月期 第1四半期の出荷数量を100とした場合の指数推移

●2012年3月期 売上高見込み

2011年3月期 実績

1Q	717億円
2Q	653億円
上期計	1,370億円
下期計	1,205億円
通期計	2,575億円

2012年3月期 実績及び見込

1Q	552億円 (実績)
2Q	533億円 (実績)
上期計	1,085億円 (実績)
下期計	899億円 (見込)
通期計	1,984億円 (見込)

補足資料

各種費用

(億円)	2011年3月期 第2四半期累計実績 (2010.4.1~2010.9.30)	2012年3月期 第2四半期累計実績 (2011.4.1~2011.9.30)	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
固定資産の取得	338	535	197	58.3
減価償却費	378	373	△ 4	△ 1.1
研究開発費	264	264	0	0.2

四半期比較（前期2Q vs 当期2Q）（当期1Q vs 当期2Q）



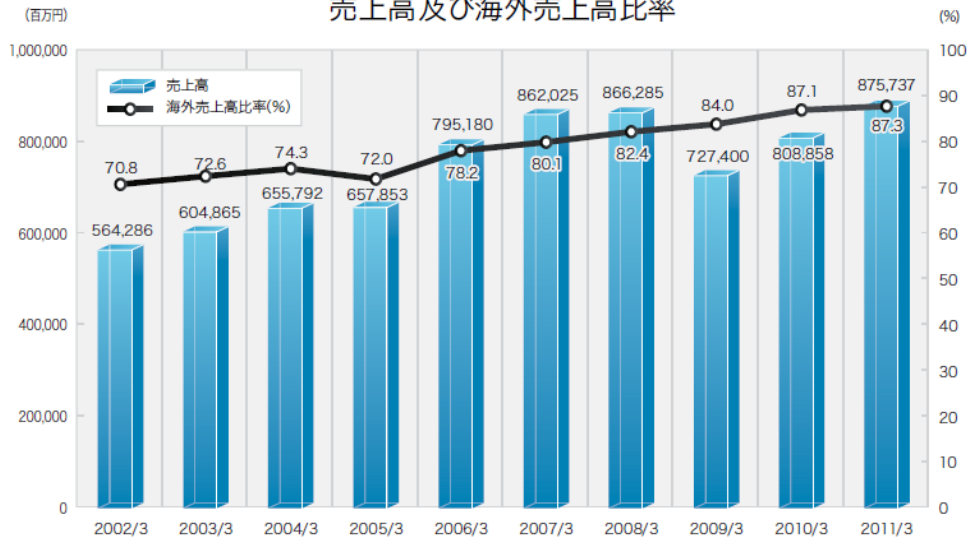
(億円)		2011年3月期 第2四半期 (2010.7.1~2010.9.30) (A)	2012年3月期 第1四半期 (2011.4.1~2011.6.30) (B)	2012年3月期 第2四半期 (2011.7.1~2011.9.30) (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
内訳	売上高	2,203	2,068	2,104	△ 99	△ 4.5	36	1.7
	受動部品	1,087	1,017	999	△ 89	△ 8.1	△ 18	△ 1.8
	磁気応用製品	922	827	845	△ 77	△ 8.4	18	2.2
	その他	193	224	260	67	34.5	36	16.0
内訳	営業利益	170	56	81	△ 88	△ 52.0	25	44.4
	受動部品	73	38	13	△ 60	△ 82.5	△ 25	△ 66.5
	磁気応用製品	125	76	88	△ 37	△ 29.8	12	16.5
	その他	17	15	17	0	2.9	2	16.6
	全社および消去	△ 45	△ 72	△ 37	8	-	35	-
	営業利益率	7.7%	2.7%	3.9%		-		-
為替	対ドルレート	85円88銭	81円74銭	77円96銭				
	対ユーロレート	110円67銭	117円62銭	110円42銭				

売上高及び営業利益の四半期推移

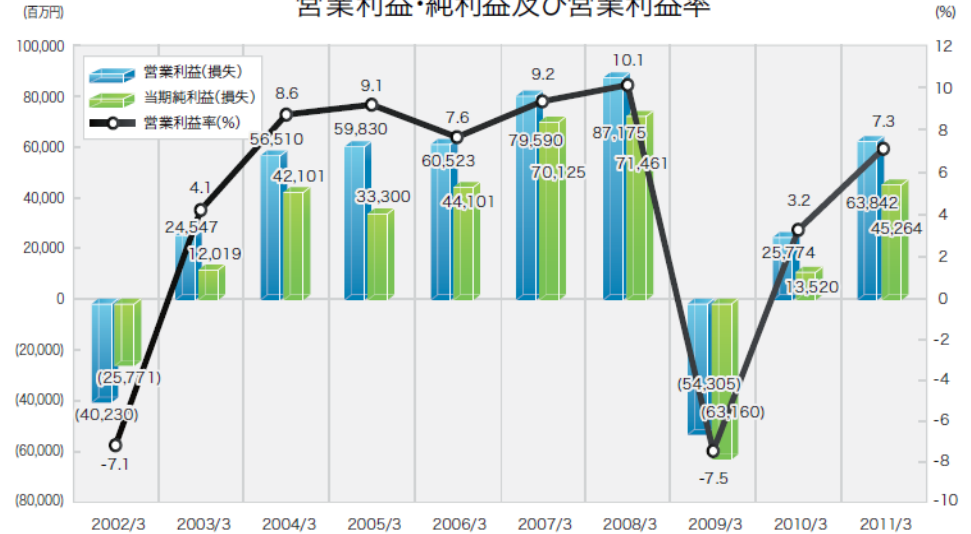


(億円)		2011年3月期					2012年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
内 訳	売上高	2,219	2,203	2,199	2,136	8,757	2,068	2,104			
	受動部品	1,047	1,087	1,071	1,050	4,256	1,017	999			
	コンデンサ	380	377	352	345	1,454	361	342			
	インダクティブデバイス	321	336	326	319	1,302	329	314			
	その他受動部品	346	375	393	386	1,500	328	344			
	磁気応用製品	1,003	922	908	852	3,685	827	845			
	記録デバイス	717	653	630	575	2,575	552	533			
	その他磁気応用製品	286	269	277	277	1,110	274	312			
	その他	170	193	220	234	817	224	260			
内 訳	営業利益	202	170	172	94	638	56	81			
	受動部品	63	73	62	48	245	38	13			
	磁気応用製品	161	125	115	68	469	76	88			
	その他	10	17	20	10	57	15	17			
	小計	233	215	197	126	771	128	118			
	全社および消去	△ 31	△ 45	△ 26	△ 32	△ 133	△ 72	△ 37			
為 替	¥/USD	92.01	85.88	82.65	82.31	85.73	81.74	77.96			
	¥/EURO	117.03	110.67	112.20	112.66	113.12	117.62	110.42			

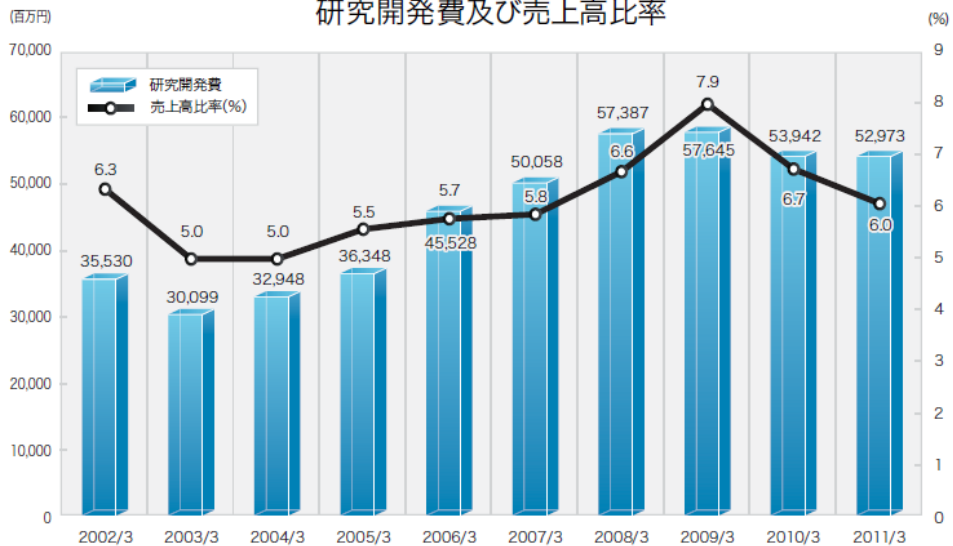
売上高及び海外売上高比率



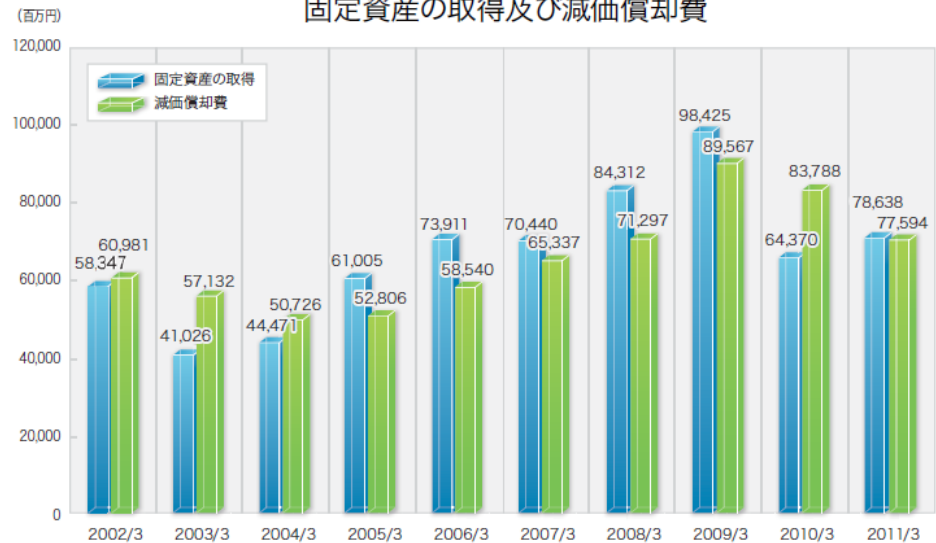
営業利益・純利益及び営業利益率



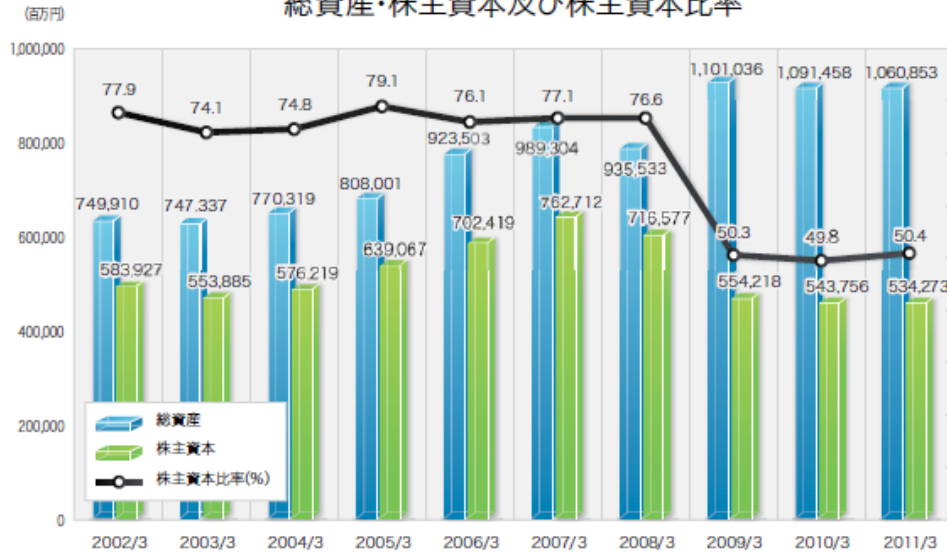
研究開発費及び売上高比率



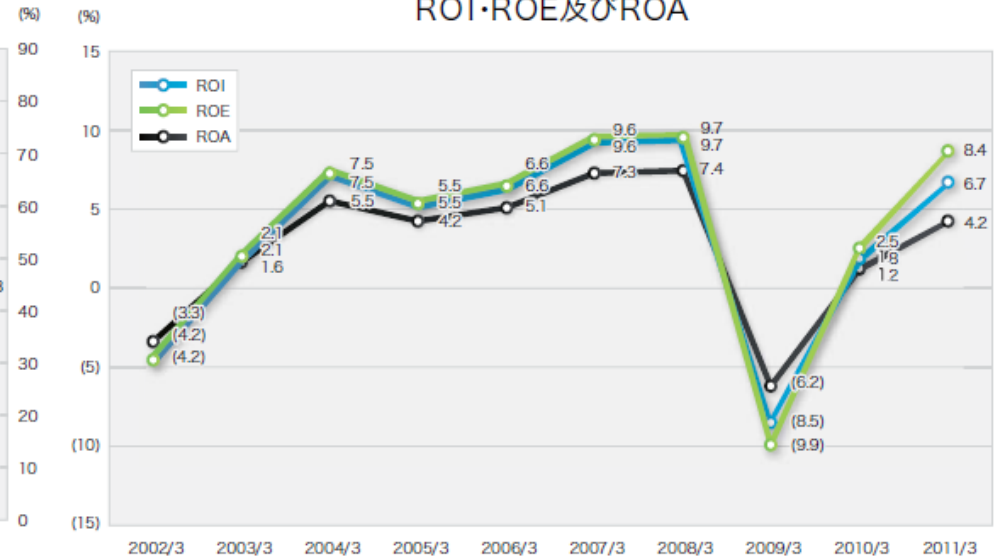
固定資産の取得及び減価償却費



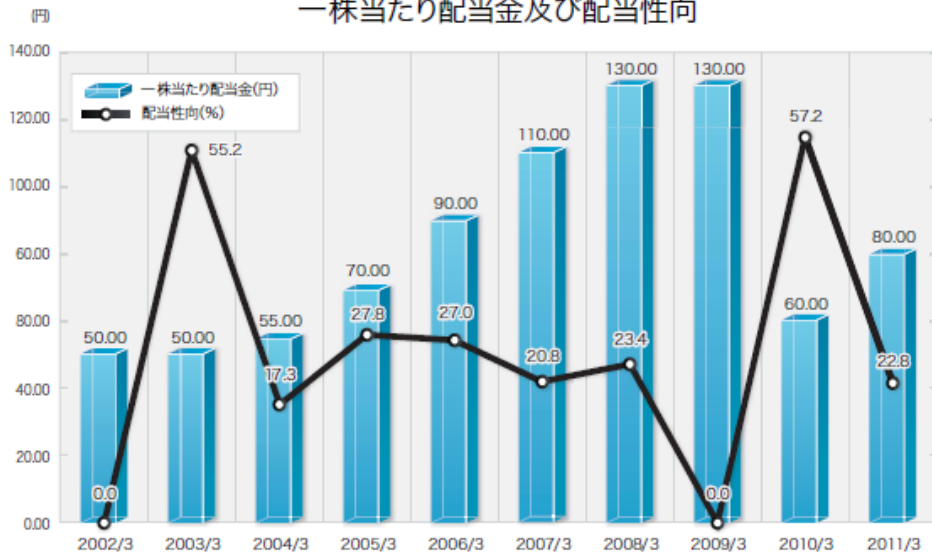
総資産・株主資本及び株主資本比率



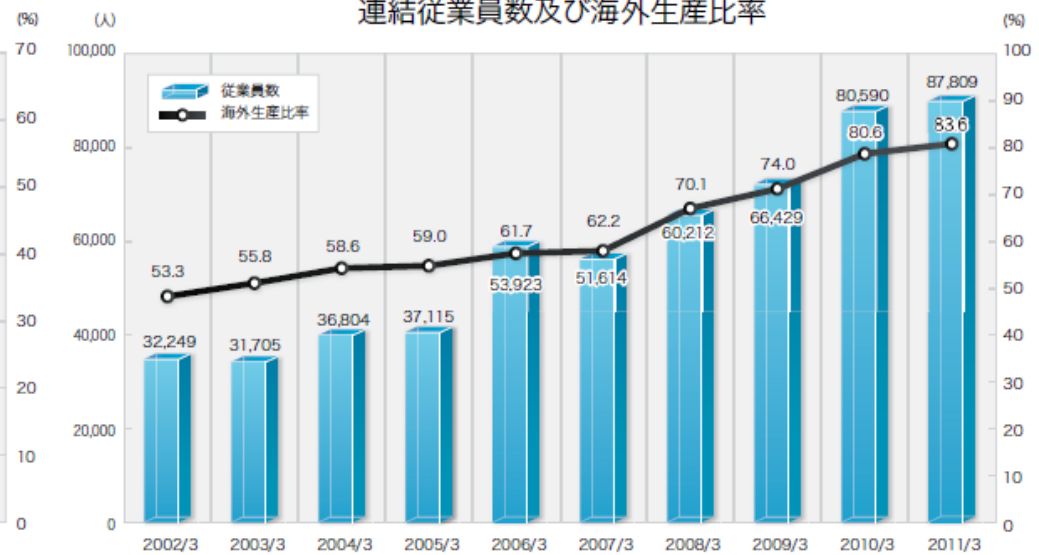
ROI・ROE及びROA



一株当たり配当金及び配当性向



連結従業員数及び海外生産比率



この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。

